浴室用換気扇

UF-24B

取扱説明書

お客様用

お客様自身では取付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

■正しく安全にお使いいただくためにこの説明書をよくお読みください。
　なお、ご使用の前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
■お読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られるところに保管してください。
■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

警告

禁止

- **ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない**
  爆発・引火の原因。

水ぬれ禁止

- **製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない**
  ショート・感電の原因。

分解禁止

- **当社指定の修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない**
  火災・感電・けがの原因。

指示に従う

- **お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**
  感電・けがの原因。
- **交流 100 V を使用する**
  火災・感電の原因。
- **異常・故障時には、直ちに使用を中止する**
  発煙・発火・感電・けがの原因。
  〈異常・故障例〉
  本説明書末尾の「6. アフターサービス　1.点検のお願い」をご参照ください。

注意

禁止

- **本体に異常な振動が発生した場合は使用しない**
  本体・部品の落下によりけがの原因。
- **高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所で使用しない**
  火災の原因。

接触禁止

- **運転中は羽根の中に指や物を入れない**
  けがの原因。

指示に従う

- **電気工事は必ず電気工事店に依頼する**
  感電の原因。
- **お手入れの際は手袋を着用する**
  着用しないとけがの原因。
- **お手入れの後の部品の取付けは確実に行う**
  落下によりけがの原因。
- **長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**
  絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. ご使用にあたってのお願い

- **換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。**
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。（中性洗剤をご使用ください）**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など（異常音の発生、変質、変色や故障の原因）

3. 各部のなまえ

形名表示位置（グリル下面）

4. 使用方法

●運転は壁などに取付けられているスイッチで運転開始と停止を行います。

メモ（浴室取付時）

- **冬場や湯気の量が多いときなどにグリルから水滴が落ちることがありますが異常ではありません。また、入浴剤をご使用の場合は色のついた水滴になる場合があります。**
- **入浴時以外は浴槽にフタをしてください。**（換気扇のいたみを少なくします）
- **給気口があるか確認してください。**（効果的な換気を行うために必要です）

上手な使いかた（浴室取付時）

●入浴後、湯を抜くか、浴槽にフタをして３時間以上換気扇を運転し、浴室を乾燥させます。
…結露・カビの発生を抑制して浴室保全に役立ちます。

5. お手入れ

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。
約４か月に１度を目安に清掃してください。
●長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検（本説明書末尾の「**6. アフターサービス**　1.点検のお願い」をご参照ください）をお願いします。

⚠警告
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
感電・けがの原因。

⚠注意
お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因。

お願い

- **洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。**
- **お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。**（異常音発生の原因。）

⚠警告
モーター軸の樹脂製カバー（白色）は絶対に抜いたり、傷付けたりしないでください
感電・けがの原因。

1. 清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

2. 清掃のしかた

1. **グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてから きれいな水で洗い、よく乾かす。**
2. **羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。**

3. お手入れ後の取付け

1. **取付けは取りはずしと逆の順序で行う。**
2. **取付け後、次の確認をする。**
   （1）グリルが確実に取付けられていますか。
   （2）異常な音が出ていませんか。
   　（必ず運転をして確認してください）

6. アフターサービスについて

1. 点検のお願い

長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全にお使いいただくために点検をお願いします。

それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。
なお、取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点がある場合はご相談ください。

●**次のような症状があれば点検してください。**

こんなとき	原　因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか	「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に取付けられていますか	取付け直します
	羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
こげ臭いにおいがする	故障です 運転停止してください	販売店または LIXIL 修理受付センターへ連絡します
本体取付部に腐食、破損などがある		

●モーターの軸受は時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化する事がありますが異常ではありません。

2. 部品の保有期間について

当社はこの換気扇の補修用性能部品を、製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

7. 仕様

（電圧 100V）

形　名	消費電力（W）		風　量（m^3/h）		騒　音（dB）		質　量（kg）
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
UF-24B	2.5	3.1	85	95	25.5	28.5	0.55

※特性は JIS C 9603 に基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921 -2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

⚠ 【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921 -2

環境条件	電　　圧	単相 100V	定格電圧による
	周 波 数	50Hz および 60Hz	定格周波数による
	温　　度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿　　度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	「7. 仕様」による
想定時間	1 年間の使用時間	換気時間[a)] 台所　2410 時間 / 年 居室　2193 時間 / 年 トイレ　2614 時間 / 年 浴室　1671 時間 / 年	

注[a)] 24 時間換気のものは、8760 時間 / 年とする。

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター
TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430
受付時間　平日　　　9：00～18：00
　　　　　土日・祝日　9：00～17：00
　　　　　（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「6. アフターサービスについて」をお読みください）

LIXIL 修理受付センター
TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456
受付時間　9：00～20：00（365 日受付）

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

この説明書は、再生紙を使用しています。

1311875HK0901
GPU-0384（13110）

浴室用換気扇

UF-24B

取付説明書　　販売店・工事店様用

取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■取付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
（間違った取付け、工事は、故障や事故の原因になります）
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■この製品は浴室・トイレ・洗面所に取付けてください。
それ以外の用途には使用しないでください。（故障の原因になります）
■直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（屋外フードなど）を取付けてください。
■雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。
■接続パイプは市販品の塩化ビニル管（VU、VP（呼び径 100 ㎜））または鋼板管（内径 100 ㎜）のいずれかをご用意ください。
■製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
●**内釜式風呂を取付けた浴室には取付けない**
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。

分解禁止
●**改造や工具を必要とする分解はしない**
火災・感電・けがの原因。

水ぬれ禁止
●**製品を水につけたり、水をかけたりしない**
ショート・感電の原因。

指示に従う
●**交流 100 V を使用する**
直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。

●**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう取付ける**
漏電・発火の原因。

●**機器用配線は差込形コネクタを用いて確実に接続してください。棒端子は切断して使用しないでください。屋内配線の電源相互の接続は、電線接続用部品である銅線専用裸圧着スリーブなどを屋内配線用電線接続工具（JIS C 9711）を用いて圧力を加え、導体と接続部を変形させて接続する方法や各々の電線に適合した差込形コネクタを用いて接続する方法等で確実に結線してください。差込形コネクタ等に接続する際には、必ず端末先端を端子穴の奥まで差し込み、目視確認してください。また、確実に接続されているか、必ず一本ずつ引っ張って確認してください。**
電気工事が不適切な場合、火災や漏電の原因。

■不適切な接続例
●以下の接続方法は発火するおそれがあるため、絶対に行わないでください。
・E 型スリーブの接続不備：ニッパやペンチなど、専用工具以外での圧着など（①②）
・差込型コネクターへの差し込み不足（③）
・閉端接続子による接続（④）
・中間接続子による接続も推奨しません

①ニッパによる圧着例　②ペンチによる圧着例　③差し込み不足　④閉端接続子

■適切な接続例

●端末先端を奥まで確実に差し込んでください。
●奥まで差し込まれているか目視確認してください。
●確実に接続されているか、1 本ずつ軽く引っ張り、必ず確認してください。

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

禁止
●**高温（40℃以上）になる場所や直接炎のあたる場所、油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない**
火災の原因。
●**浴室内に壁スイッチを設けない**
感電の原因。

指示に従う
●**取付けの際は手袋を着用する**
着用しないとけがの原因。
●**本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う**
落下によるけがの原因。
●**グリルや部品の取付けは確実に行う**
落下によるけがの原因。
●**電気工事は電気工事店に依頼する**
感電の原因。
●**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う**
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
●**取付け後、長期間ご使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2. 取付前のお願い

●**高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。**（故障の原因になります）
●**塩害、温泉害の発生している場所には取付けないでください。**（故障の原因になります）
●**燃焼機器の排気口の近くには取付けないでください。**（燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります）
●**システム部材（屋外フードなど）は壁厚にあったものを選んでください。**
（壁厚により取付けられないものがあります）
●**天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。**
●**アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。**（振動の原因になります）
●**効果的な換気を行うために給気口を設けてください。**
●**市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定してください。**
（詳細は **4. 取付方法**の電気工事をご覧ください）

3. 各部のなまえと外形寸法図

【付属部品】木ネジ……2 本（ステンレス製）

4. 取付方法

1 取付前の準備

壁取付けの場合（壁穴への接続パイプの固定）

1．取付場所を決めて壁穴をあける。
●右図の壁穴位置をご確認ください。
●接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）と厚肉（VP）管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
●必ず床面より 1800 ㎜以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。

お願い
●取付位置は上図の位置になるようにしてください。
上図の寸法より小さくなりますと製品が取付けられない場合があります。

2．壁穴に接続パイプを確実に固定する。
接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
●電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
●固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
●室内へ水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。

※接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

お願い
●接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井取付けの場合（ダクト工事）

1．下図のように接続パイプ、補強板を使用し、ダクト工事をする。

※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

お願い
●接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。

2．ダクトの中心から天井板まで 185 ㎜以上離して天井板を張る。
3．エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。
4．接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い
●ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけてください。
●天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。
■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
※本製品は電気用品安全法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事不要です。

3 本体の取付け（壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです）

1．本体からグリルをはずす。
2．結線をする。
（電気工事は電気工事士の方が実施してください）
3．本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ 2 本で本体を固定する。
●本体の刻印「上」を上側にして取付けてください。
●左右の取付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部取付用長穴をご使用ください。
●石膏ボードに取付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い
●インパクトドライバーは使用しないでください。
本体の固定部分が破損するおそれがあります。

4．グリルを本体に取付ける。
●グリルの方向を確認して、本体に取付けます。
5．以上の取付けが終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。
6．試運転を行う。
●換気扇が運転・停止するかを確認してください。
●異常な音・振動などがないかを確認してください。